

皆さんが本日受験した適性検査Ⅰの**問題2**で出題された問題を解説します！

問題文

としおくん：ところで、こんなにたくさんのペットボトルキャップが集まるといくつ集まったのか数が知りたくなるよね。

とみさん：そうね。でも、さすがに数を数えるのは大変そうよ。

先ばい：大丈夫。1つひとつ数を数えなくとも、⑤重さを利用して計算すればおおよその数が分かるよ。

二人：そうか。その方法がありましたね。

設問

(5) 下線部⑤にあるように、回収したペットボトルキャップの数を、重さを利用しておおよそ知るためにはどのような計算をすればよいかくわしく説明しましょう。なお、ペットボトルキャップはどれもほぼ同じ重さですが、10個以上でないと軽すぎて重さを計れないものとします。

解答例

まずペットボトルキャップ10個分の重さを計り、10で割って1つ分の重さを出す。次に回収したペットボトルキャップ全体の重さを計り、1つ分の重さで割るとおおよその数が分かる。

解説

設問文に「ペットボトルキャップはどれもほぼ同じ重さ」とあるので、ペットボトルキャップ1個の重さが分かれば、全体の重さを1個分の重さで割ることでおおよその個数が分かる、と考えることができます。

では、ペットボトルキャップ1個の重さをどのように知るかということですが、設問文からペットボトルキャップは「10個以上でないと軽すぎて重さを計れない」ことが分かるので、ペットボトルキャップ10個以上の重さを計り、計った個数で割ると1個分の重さを知ることができます。例えば10個の重さを計った場合は、重さを10で割ると1個当たりの重さが分かります。

ペットボトルキャップ1個分の重さはいくつだろう？



数を数えたいペットボトルキャップ全部の重さを量って、1個分の重さで割れば、いくつあるか数えられますね！

Point!

